

第7回

シンポジウム

平和を求め 軍拡を許さない 女たちの会

2026 SUN 開場13:00

5.24 13:30~

憲法が描く「平和」のトライアングル 9条、24条、そして平和的生存権

第1部 13:40~14:40 基調講演

きよすえ あいさ

清末愛砂 室蘭工業大学 憲法学教授

1972年生まれ。山口県出身。専門は憲法学(特に24条の平和主義的価値)など。近年の主な著書として、『北海道をひらく平和学: 私たちのいま』(編著、法律文化社、2025)など。日本国憲法が徹底的に否定する力による支配である「暴力」。軍事力を否定する9条と車の両輪となって、家父長制の暴力を否定する24条が作ろうとしている非暴力な社会とは

「非暴力」で私たちの安全は守られるのか?



イラスト©大島史子



清末愛砂



橋本智子



田中優子

第2部 14:40~15:20 清末愛砂×橋本智子対談

はしもとともこ

橋本智子 弁護士 大阪弁護士会

2003年弁護士登録。以来、女性や子ども、高齢者、障害者にかかわる事案を中心に担当。共著書に『イマドキ家族のリアルと未来 憲法カフェへようこそ 3~憲法9条の陰でねらわれる24条』(かがわ出版、2018)ほか

あの「自己都合解散」、あんなのアリなの? 緊急事態条項ってどういうこと? 自衛隊明記、なにがいけないの? ほんとうに国民投票になったら、どうしたらいい? などなど

第3部 15:30~16:20 質疑応答 (清末愛砂・橋本智子・田中優子)

司会



わだしずか
和田静香

ライター

著書に『時給はいつも最低賃金、これって私のせいですか? 国会議員に聞いてみた。』(朝日文庫)など



すぎうら
杉浦ひとみ

事務局長
弁護士

安保法制違憲訴訟に関わる。日弁連人権擁護委員会、子どもの委員会等所属

シンポの趣旨

田中優子共同代表

女性は今なら声を上げられる。私たちの会は、軍拡で少子化対策や労働者の賃上げ、女性や1人親家庭、非正規労働者、子どもなど、社会的弱者の公的支援の政策が、マイナスの影響を受け、教育支出が先進国で最低な状況に危機感を抱く。女性が参政権を持ち初めて迎える「戦前をどうしていくべきか皆さんと考えたい。」

専修大学神田キャンパス

10号館4階 10041
〒101-8425 東京都千代田区神田神保町3-8

資料代 1000円 (お約りのないようお願いいたします)

事務局・問い合わせ先
gunkakuyurusana@gmail.com
hasegawa@isc.senshu-u.ac.jp



参加申込先

1500円以上の寄付の方にスカーフをプレゼント!

gunkakuyurusana@gmail.com

ご希望の方は上記メールに氏名、郵便番号、住所、電話番号、スカーフの必要な枚数をお知らせください。送料は別途かかります

ゆうちょ
記号10000番号 56481531

他金融機関から
店名〇〇八 店番 008 普通
口座番号 5648153

